喜寿を迎え

関 賢治（２組）

皆さん　無事喜寿を迎えられ、おめでとうございます。

７月 12 日に開催された喜寿記念同期会には２組からは　上原昇君、小山壽一君、小宮山豊君、日野博明君、松本勉君、丸山幸雄君、横山勇徳君、関の８名の参加者となりました。昨年 10 月に上田の香青軒で２組同級会が 14 名参加で開催されたばかりであったこともあり、いつもより少ない参加者数でした。（幹事の上原君が「昨年のクラス会に出たから今回は欠席するという人が何人かいた」とぼやいていました）

会場の我がテーブルは２組と 11 組が半数ずつの同席となっており、幹事団のテーブルの席割にも心配りが感じられました。会の開催に対して敬服するばかりです。11 組の同席の皆さんとは長野大学関係者や日立製作所に勤務していた方の話題で盛り上がりました。

閉会後、喫茶店にでもと二次会の会場を探しながら歩いていると、駅からすぐのビルの屋上に賑やかそうなビヤーガーデンを発見。思わず足が向いてしまいました。今どきの店は全てモバイル決済でちょっと味気ないですが、隣席の若者たちと会話したりして、時代を感じつつ昔話に花を咲かせました。関東組（小宮山、関）の新幹線の時間が気になり、早めの解散となりました。

54 歳の頃、上原君から関東同窓会総会の当番（実行委員）期の手伝いをと誘ってもらい、関東同期会に顔を出すようになってから、高校時代は面識もなかった諸氏と付き合える様になりました。

還暦記念同期会を機に立ち上った「同期テニスの会（これまで 28 回開催）」や埼玉県在住者で立ち上げの「蕨の会（同じく 18 回開催）」がそれぞれ年２回開催され、積極的に参加してきました。これからも体力の続くかぎり参加していくつもりです。

かつて先輩から年を取ったら「教養」と「教育」が大事になるよと言われました。最近、その意味をしみじみと感じる様になってきました。

これまで健康でいられたことを女房に感謝しつつ「今日用事がある」「今日行く所がある」を意識しながら濡れ落ち葉にならない様に生きていきたいと思います。

皆さん　傘寿記念同期会に元気で再会しましょう。（布施代表幹事からの「今回で最後」という案内は承知のうえで）

次ページに写真

2組のテーブルで、右端が筆者

2組が登壇、左から上原、日野、横山、丸山幸雄、小山、小宮山豊、筆者（関）、松本

（2025年7月26日記）

以上